

「伝わる」を、もっと。

「函館市障がい者コミュニケーション条例」と「函館市手話言語条例」が制定されました。障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進や手話が豊かな「言語」であることへの普及を進めていきます。すべての人が社会参加の機会を得て、安心して暮らせる地域社会になるための大切な第一歩です。

教えてください、あなたへの伝え方 それぞれ違う「伝わる方法」

障がいの特性や心地よいコミュニケーションの方法は人それぞれです。

特に外見からは分かりにくい障がいや病気のある方は、街の中でちょっとした不安や不便を抱えていることがあります。今回は、市内にお住まいの視覚障がいのある方と難病のある方に、普段のコミュニケーションの工夫や、周囲からどんな風に声をかけてもらえると嬉しいかお話を伺いました。



まずは「声かけ」から。 普通に話ができて、お互いに話し合える関係に

三浦 さん（視覚障がい）

進行性の病気で視野の大半を欠損している三浦さん。スマホやパソコンの音声操作を訓練中です。

「見えづらは外見で分かりにくく、周囲に気づかれないことがあります。危険な時に手を引いてくれる善意には感謝しつつも突然だと驚いてしまうため、**まずは『どうしましたか？』と声をかけてもらえると安心**します。郵便物の代読や問診票の代筆をしてくれる市の支援事業も本当に助かっています。

困りごとが普通に話せて、お互いに話し合える関係性が進んでいくといいですね」

目に見える「文字」が安心をくれる。 音だけではなく目で見てわかる街へ

金丸 さん（突発性難聴）

突発性難聴で左耳の聴力を失い、右耳のみで生活する金丸さん。外見からは気づかれにくく、とっさの会話や雑音の中での聞き取りに苦労しています。

「コンビニで金額が聞き取れず何度も聞き返した時、店員さんがレジの画面などで金額を表示してくれてすごく助かりました。

目で見てわかる工夫が街に増えてほしいです。また、講演会等では集音機を使いますが周囲の音を全て拾うため大変疲れます。手話だけでなく、要約筆記などの文字によるサポートがあると本当にありがたいですね」



知ることから始めよう！

私たちの周りにある、いろいろな「伝える」カタチ



耳や言葉の不自由な方



手話、筆談、身振り、
スマホのメモ画面など

マスクを下げて口元を見せる、
はっきりゆっくり話す



目の不自由な方



音声案内、点字など

「3メートル右前にドアがあり
ます」など具体的に伝える。



話すこと、体を動かすことが難しい方

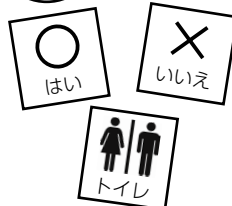
文字盤（ひらがな50音）									
わ	ら	や	ま	は	な	さ	か	あ	
り		み	ひ	に	ち	し	き		
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	く	う	
れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
はい					いいえ				

代用音声、文字盤、
身振りなど

「はい」「いいえ」で答えられ
るようにするとスムーズ。



知的・精神・発達障がいのある方



絵、写真、
わかりやすい言葉など

専門用語や「適当」など曖昧
な表現を避ける。短く「一つ
ずつ」伝える。

これらはあくまで一例です。人によって心地よい方法は違います。

まずは「どうすれば伝わりやすいですか？」と、目の前の相手に優しく問いかけること。

その一歩が、何よりのコミュニケーションです。



詳しくは
こちら

まちなか伝わる工夫探し

街の中にあるコミュニケーションの工夫を探してみました。
見て伝わる方法は障がい者だけでなく高齢者や外国人にも伝わ
りやすい工夫になっています。



画像提供：セブン・イレブン

コンビニで発見



市電で発見



条例検討委員会の委員長へ
条例制定への思いを聞きました

当事者を含む多様な立場の委員の率直
な意見に耳を傾け、考えの違いを乗り
越えながら、多くの人の思いを包含で
きる条例を目指しました。この条例が
障がいのある方だけでなく、すべての
市民が互いを理解し支え合う地域社会
づくりにつながると考えたからです。

函館市手話言語条例および
障がい者コミュニケーション条例検討委員会
委員長 齋藤 征人さん

条例施行を機に、相手に伝わる方法を
互いに考え合い、障がいの有無にかか
わらず自然に声をかけ合うことで、理
解と交流を深めながら、支え合える地
域社会を市民みんなで築いていけたら
と思います。



手話は大切な「言語」

声ではなく、手や表情で思いを伝える手話。

かつてその手話が否定され、制限されていた時代がありました。今回の条例施行に、誰よりも熱い想いを寄せる函館聴覚障がい者協会の石井昌子会長に、これまでの歩みとこれからの夢を伺いました。

夢は、手話で立ち話ができること

函館聴覚障がい者協会 会長 石井昌子さん

昔は、周りに手話ができる人がほとんどいませんでした。

言いたいことがあっても伝える方法がなく、相手の思い込みで勝手に物事を決められてしまう。「そうじゃないのに……」と思いながらも、諦めるしかない時代が長かったのです。

街中で手話を使っていると、周囲から「動物のようだ」と笑われ、真似をしてバカにされることもありました。すごく悔しくて、人の目が怖くなり、手話を隠すような生活を続けてきました。学校でも手話は禁止され、先生に見つかりと手を叩かれる厳しい環境でしたが、それでも私たちは先生の目を盗んで隠れて手話でおしゃべりをしていました。だって、手話で話す時間は本当に楽しかったから。大げさな言い方かもしれませんが、**手話がなければ、私たちは生きていけなかった**のです。

手話は特別なものではなく、私たちの日常にある大切な「言語」です。条例ができることで、手話への偏見がなくなり、誰もが自分が伝えたい言語で会話できるのが当たり前の社会になってほしい。私の長年の夢は、街で出会った聞こえる人と、ふらっと自然に**「手話で立ち話」**ができるようになること。条例施行は、その夢へ近づく大きな一歩だとワクワクしています。



手話と歩んだまち、函館

1902年（明治35年）、北海道のろう教育は函館から始まりました。しかし過去には手話教育が否定され、公に認められなかった苦難の時代を経験しました。だからこそ、先人たちの信念と紡がれた想いを受け継ぐ今回の条例施行は、市にとって大きな一歩となります。

明治28年

日本で3番目の
私立盲学校開校

明治35年

聾生部の設置

北海道初ろう者のための
正式な教育がスタート



大正3年の私立函館盲啞院（現北海道函館盲学校・聾学校の前身）
所蔵：函館市中央図書館

大正末期

「手話を守る」函館と大阪

全国的に口話法が推進される中、函館盲啞院の佐藤在寛は、「手話を使うことは生徒の権利を守ることだ」とし手話を使うことを尊重した。

昭和12年

ヘレン・ケラー来函

函館盲啞院を訪れ、生徒らと交流した。



画像提供：北海道函館聾学校

令和8年

函館市手話言語条例
制定

昭和24年 函館聾学校にも手話禁止の波

当時の在校生は「朝礼で立っていた手話通訳の先生がある日突然いなくなった。それからは校長先生の口の動きを見るだけで、何を言っているのか全く分からなくなった」と語ります。



手話って、おもしろい！ —学生たちの体験レポート—

北海道教育大学函館校の学生8人に手話を体験してもらいました。
日常で使える手話をご紹介します。ぜひ覚えて活用してみてください。

はこだて
＼福祉チャンネル／
5つの手話を
＼動画でみる／



お疲れさま



グーにした手で腕を
トントンと叩く

こんにちは



人差し指と中指を立て
おでこにあてる

函 館



手話も話し言葉と変
わらない「言語」な
んだということを実
感しました。
金田さん

箱をイメージした形を作り、
反対の手のひらの上にトン
トンと叩く

東京2025デフリンピック
ボウリング競技日本代表の
櫻庭まどかさんに
教えていただきました。

拍 手



応援に使っ
てみよう！

両手のひらを広げてひらひら振る

表紙の手話はこれ！
「あなたの名前は「何？」と聞いていました。」

何？



上の「お疲れさま」は函館
特有の表現だそうです。地
域で表現が変わることを初
めて知りました。
齊藤さん

人差し指を立てて横に振る

あなたも手話に触れてみませんか？

問 障がい保健福祉課 ☎ 21-3263

手話カフェ



手話を使って、ろう者と聴者が気
軽に交流できるイベントです。
手話を体験したい方、興味がある
方、勉強中で実践してみたい方な
どお気軽にご参加いただけます。

親子手話教室



小学生が親子で、ろう者と交流し
ながら実践形式で手話を学べる教
室です。令和8年度の日程は、決
まり次第、市HPやLINEなどでお
知らせします。

手話奉仕員養成講座



手話および手話表現技術を有する
手話奉仕員の養成講座です。
入門、基礎、レベルアッ
プの区分があり初心者か
ら学ぶことができます。



出前講座



手話の普及・啓発および理解促進
のため、講師が学校や企業、団体
等へ出向き初心者向けの
講座を開催しています。



画像提供：函館大学